



☆青山の方にはマメールでも配信しています☆

指導者・保護者の皆様、一年間ありがとうございました！

令和4年度

卒団する皆様 卒団おめでとうございます。
支えていただいた指導者、ご父兄、理事・役員の方々！
1年間 ありがとうございました。

今年度の活動はコロナウイルスといかに共存・共生しながら学校の勉強やスポ少の活動を行っていくことが課題となりました。3密を避けて、マスク、予防注射などで自分自身を守りました。それでもいろいろな制限がありました。でも少しずつ、「コロナ禍での活動をどうすればいいか」が分かってきました。

こうした中での卒団式も3年前とは少し趣を変えて実施することになりました。

今、「青山スポーツ少年団」は今年度も大津市の中で団員数が2番目に多い166名（1月末集計）になり、たくさんのお友達が入団してくれました。

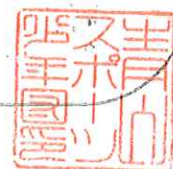
スポーツ少年団の方針は

- 「健康な体と心を養う」
- 「ルールを守り、他人に迷惑をかけない」
- 「自分の力を伸ばす努力をする」
- 「スポーツのよろこびを学び、友情と協力を大切する」
- 「世界中の友達と力を合わせて平和な世界を作ること」です。

この1年の活動で「楽しかったこと」、「うれしかったこと」を笑顔で、「苦しかった」、「つらかったこと」では歯をくいしばり、時には涙を流して頑張りました・・・いろいろなことがありました。これで卒団です。

4月からは中学生です。更に飛躍するチャンスもたくさんでき、体力がつき、一段とたくましくなります。皆さんの「夢」に「挑戦」し、強い「心」で前進してください。これからの皆さんの活躍に期待します。また、指導者、ご父兄、理事・役員の方々は、この1年ありがとうございました。各部においては積極的な活動でそれぞれ活動の成果について、卒団式やお別れ会で指導者から報告されることでしょう。本年の活動も大きな事故やトラブルもなく、全力で活動いただいたことに心より感謝申し上げます。これからも青山スポーツ少年団を見守りご支援ください。

青山スポーツ少年団 団長 八木 良樹



卒団するみなさんへ

6年生の皆さん、ご卒団おめでとうございます！！

さあ皆さん振り返ってみてください。青山スポーツ少年団に在団し、それぞれのクラブで最上級生として過ごしたこの一年間はどうかだったでしょうか？チームを引っ張る難しさを経験したのではないのでしょうか？また、できるプレーが増えてきて練習や試合が一段と楽しくなってきたことや、時には思い通りに行かずに悔しくて泣いたことがあったかもしれません。全力で打ち込んだこの一年は一回りも二回りも大きく成長したことと思います。

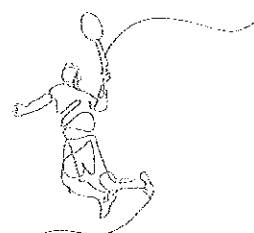
さて、皆さんが無事に卒団を迎えることができるのは、これまでご指導して下さった指導者やOBの方々、いつも一番近くでサポートや応援をして下さったご家族、楽しい時もつらい時も共に過ごしたチームメンバーの支えや協力があったことです。大好きなクラブに全力で打ち込めたことに感謝の気持ちを忘れないでください。次のステップ（中学生）でも、青山スポーツ少年団で過ごした経験を活かし、更なる活躍を期待しています。ファイト！！

最後に、保護者様、指導者様、育成会関係者の皆様におかれましては、日頃からスポ少活動にご尽力いただき、大きなトラブルなく活動できていることに感謝申し上げます。今年度も卒団生が無事に卒団を迎えることができること大変うれしく思います。来年度も子供たちが元気に活躍できる場所を支えていきましょう。チーム青山！これからも一丸となって取り組んでいきます。引続きご協力お願いいたします。

青山スポーツ少年団 育成会会長 池田 浩二

令和4年度 卒団生	
ミニバスケットボール部	18名
サッカー部	12名
バドミントン部	3名
野球部	5名
バレーボール部	1名
剣道部	3名
	計 42名

バドミントン部



青山スポーツ少年団ご卒団おめでとうございます

青山スポーツ少年団を卒団されるみなさん、大変おめでとうございます。

自分で選んだそれぞれの種目で、毎週毎週がんばって、競技大会にも参加し思い通りの活躍のできた人、残念ながら自分ではがんばったけど、思い通りの活躍は出来なかった人、一人一人がそれぞれの貴重な体験をされたことと思います。コーチや保護者のみなさんとのたくさんの楽しい思い出もいっぱいできましたね。

今年も新型コロナウイルスの流行はなかなか抑えることができず、また年初から第8波の大流行になりましたね。そんななかでも、今年度は色々な対策をしてもらって、今までよりは練習も対外試合も出来たのではないのでしょうか。皆さんの努力で新型コロナウイルスの正体が少しずつ分かってきて、スポ少の活動もなんとかやって行けそうだということが分かってきたからですね。世界中の国がワクチンの接種もがんばって、ウイルスに負けないための対策もずいぶん進みました。

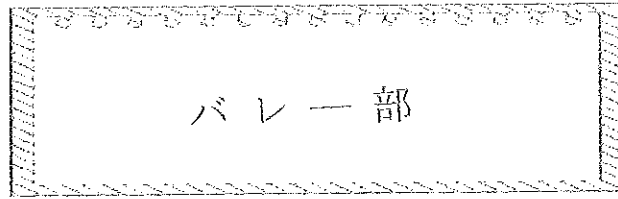
いまウクライナではロシアの指導者の暴挙により、戦争が行われ、ウクライナの人々は生き残るための闘いをされています。かつては日本も太平洋戦争で世界の大国と戦って、原子爆弾の経験もし、多くの大切な命が奪われた悲しい歴史があります。

皆さんがこれから生き抜いていく社会は、今はいろいろなおいしい食べ物があふれ、暖かい家族と楽しく過ごし自分のやりたいことができる平和な日本ですが、これが突然失われてしまうことがあります。地球環境問題、人口爆発による食糧危機など、生き方を問われるような難しい問題も差し迫っています。皆さんも新型コロナウイルスのために、すっかり学校生活でのマスクや給食時間の黙食、ソーシャルディスタンスの確保、大声の禁止などの習慣が当たり前になっていますよね。いままでの学校ではかんがえられなかった出来事です。突然コロナによって学校生活が大きく変わってしまったのです。

スポーツ少年団でスポーツの楽しさだけでなく、いろいろな2度と出来ない貴重な体験をされたと思います。

若い皆さんがこの体験を生かして、力強く社会で活躍され、より豊かで平和な日本をつくってくださることを期待されています。お祭りや花火大会など先人の築いてこられた伝統行事が楽しみ、みんながより便利で快適に生きられる、明るい未来の社会をつくるのはみなさんの活躍が必要なのです。

バドミントン部代表指導者



やり切ったなあ。 結桜！

ユズ。 目を閉じるといろんな光景がよみがえります。

3年生の夏に体験に来てくれたゆずを見た時は、「えらい大人しい子やなあ」というのが第一印象でした。

歓迎 BBQ の時、私が他のお父さんとキャッチボールをしているのを見た次の日の練習で、「カントク、ワタシ野球もやりたいのでキャッチボール教えてください！」って真顔で言いに来たときは、「えらい天然な子やなあ」と・・・大ウケしたのを思い出します。(お母さんにグローブをねだったらしいね・・・)

時は流れて 2022 年春。多くの下級生を率いるたった一人の 6 年生として見違えるほど頼もしいキャプテンになりました。5 月の JA レーク杯優勝を皮切りに、全ての公式戦で県大会に出場し、オール 6 年の強豪チームとも数々の名勝負を繰り広げてくれました。中でも大津のライバル長等との試合はすごかったですね。大逆転のフルセットで優勝した JA レーク杯、負ければ県大会に行けない崖っぷちの夏季大会準決勝でまたまた長等に大逆転のフルセット勝ち、続く決勝もフルセットで大津優勝。だからバレーはやめられん！感動しました。それなのに、このまま一気に県大会に乗り込むぞ！と気合十分の大会 1 週間前の練習中に、まさかの捻挫。この時はケガとの向き合い方、心を折らずに出来ることをがんばる大切さを後輩たちに示してくれました。県体当日は全日県大会の準優勝チームに食らいつき、強豪の土山も倒して近畿大会まであと少しでした。負けるもんか！と拾いまくるユズを見ていて本当に頼もしかったです。

みんなに優しく、自分はコツコツがんばれる、いいキャプテンでした。私は、結桜とバレーが出来たこと、多くの時間を共に過ごせたことを誇りに思います。

今日はこの原稿の締め切り前夜・・・結桜の最後の公式戦の抽選会がありました。

結果はまさかの・・・！またまた初戦で長等と対決。これはもう、やるしかない！卒団式の日、やりきったなあ・・・ゆず！と

お互いに笑い合おうぜ！

ドライブサーブにジャンプフローター、多くの球種を自在に操るサーブを武器に

小さくても決められる！コートに突き刺すスパイクと安定したレシーブでコートに立ち続けた曹山の大黒柱！

ゆずれない想いを胸に、これからも 翔べ！池田結桜！

本当に卒団おめでとう。そしてたくさんの感動をありがとう！

これからの活躍を心から願っています。

バレー部監督 八木健介

剣道部

卒団生のみんな、卒団おめでとうございます！！

ここまで本当によく頑張りました。

さき

6年生から入部してくれてなかなか一緒に練習できませんでしたね。一人だけお姉さんとして小さい子達と一緒に練習して、やりづらかった事もあったでしょう。でもそんな中でも嫌な顔ひとつせず、一生懸命竹刀を振って練習している姿が、さきの優しく真面目な性格を示していたのだと思います。そんな素晴らしい人柄を中学でも持ち続けて、真っ直ぐに成長して欲しいと思います。

かほ

かほも小学校高学年からの入部でした。今ではみんなと一緒に面をつけて立派に練習に参加してくれています。さらに試合にまで出場し、6年生として堂々と試合ができるまで成長してくれました。本当に素晴らしい！！正直、入部当初では、かほがここまで上手になるとは私は思っていませんでした。（ごめんね笑）でもそんな私の不安を吹き飛ばすように、どんどん上手になっていくかほの姿は、本当に頼もしかった。自分では気づいていないかもしれないけれど、かほは陰からキャプテンとチームを支える役割として、チームにいてはならない存在となっていました。中学生になったらもっと多方面に活躍して、輝いている姿を見せてください。

隆之介

隆之介との思い出はたくさんありすぎて、何から話したらいいのか分からなくなりますね。入部した当初はわがままで、お兄ちゃんの後ろに隠れていた子がこんなにも立派に逞しく育ってくれたのは、本当に感慨深いです。

2年間もキャプテンを務めてみんなを引っ張っていくのはさぞかし大変だったでしょう。そんな隆之介の姿は本当に頼もしかったしめちやくちカッコよかった！尊敬しています。「キャプテン」は誰にでも出来ることではありません。それが出来ることは隆之介の大きな武器になります。中学生になったらその武器を最大限利用して、大きく活躍してくださいね。応援しています。

隆之介がキャプテンで本当に良かった。ありがとう。お疲れ様でした。

最後に、大好きな3人が卒団するのは本当に寂しいし悲しいです。まだまだみんなと一緒に練習したかったし、おしゃべりもしたかった。いつでも青山剣道部に遊びにきてくださいね。待ってます！

中学になると勉強、部活、学校のイベントなどであっという間に3年間が終わってしまいます。後悔しないように全力で駆け抜けてください！！

以上

青山スポーツ少年団剣道部 指導者 手塚正秋



野 球 部

青山・田上スポーツ少年団野球部のみんな卒団おめでとうございます。

今年も体力とどのチームにも負けない根性を身に付けるため、苦手（嫌いだった？）である10分間走とラダーをやり抜き、どこにも負けない体力と根性を身に付けることができましたね。

チームの目標を県大会出場とし戦いましたが、その目標を達成することは残念ながらできませんでした。春先には勝てたチームに次の大会では勝つことができず、悔しい思いを何度も何度も繰り返し、その度に反省会を行い、技術面だけではなくメンタル面を強くするため頑張ってきましたね。それでも野球の神様はみんなに試練を与え、優勝という栄光を掴ませてはくれず、みんなと悔しい涙を流したことは忘れられません。それでも、諦めることはなく頑張った成果が実ったのは、最後の大会である大津市スポーツ少年団第51回野球大会での優勝でした。前日に行われた別の大会で2試合を戦い抜きながらも勝利を逃してしまい、翌日に行われる大会で、みんなの士気を高めるには、どんな声を掛けたら良いのか朝が来るまで考えたことを昨日のように感じます。しかし、みんなは、そんな私の心配をよそに、前日の悔しさをバネに準決勝・決勝とも先取点を取られる苦しい展開の中、闘志をむき出しにして、決して諦めず勝利だけを信じて戦うことが出来たみんなだからこそ、掴めた優勝だと思います。その時に流した涙は、これまで流した涙とは違い最高の涙だったと思います。

これからもいろんな場面で、壁が立ち塞がることがあると思いますが、これまでの経験が必ずみんなを良い結果に導いてくれると思います。

みんなと一緒に流した汗と涙、そして感動を得た時間は決して忘れることのできない思い出です。本当にありがとう！

これからも指導者一同みんなの活躍を応援しています。それぞれが目指す夢に向かって努力を惜しまず頑張ってください！！

青山・田上スポーツ少年団野球部監督 加藤伸次 指導者一同

サッカー部



卒団にあたり

12名揃って卒団できること、嬉しい気持ちでいっぱいです。

1年生からの入団者も居ましたが、なかなか人数が増えないためミニサッカーが活躍の場だったと
思い出されます。

それでも8人制の大会に7名で挑み、優勝した時はとても頼もしく感じました。

当時の那生のコメントを憶えていますか？

『一人少なくともその分走れば問題ない』

不利な状況を言い訳せずに高い向上心を持った素晴らしい心構えです。

4年生でようやくメンバーも揃い、公式戦にも出場できるようになりました。

公式戦全5大会ですべて県大会出場を勝ち取りました。

クラブチーム全盛のなか単一小学校のチームとして、たいへん誇らしい戦績です。

ハイボールの処理で安定感を与えてくれた優斗

圧倒的な走力で攻守に存在感を出した健吾

ボール奪取能力と推進力をもたらした恵輔

どんなボールでも収め、起点となった和磨

相手の逆を突くのが魅力の航平

高精度のキックとボールコントロールで攻撃を牽引した遼祐

危機管理能力が高く、後方よりチームを支えた晟悟

至近距離からのシュートにも向かっていける隼社

鋭い縦突破でチャンスメイクした諒太郎

抜群のスピードで相手を混乱させた永大

独特の間合いからの仕掛けが得意な那生

細かなボールタッチで攻撃にアクセントをつけた惇稀

みんな素晴らしい個性を持っています。

その個性をさらに磨き、次のステージでの更なる活躍を期待しております。

卒団おめでとうございます。

青山ジュニアフットボールクラブ監督 榎本 哲



ミニバスケットボール部



青山イーグルス卒団生の皆さん、卒団おめでとう！

男子13人、女子5人と大所帯でしたが、一人一人個性の輝く素晴らしい学年だったと思います。皆さんが練習や試合を通して、バスケットの技術だけでなく、人としてもどんどん成長していった姿は、とても頼もしく感じました。

今年はコロナ禍ではあったものの、4月のフレッシュマン大会に始まり、新人戦、県リーグ、大津市市民大会など、ほとんど毎月公式戦がありましたね。練習してきた成果を十分に発揮し、最高のパフォーマンスを披露することができた試合もあったと思いますし、思う通りにいかず悔しい思いをした試合もあったと思います。また、なかなか出場機会がなく、ベンチから試合を見る時間が多かった人もいると思います。どれもが非常に大切な経験です。そして、もう一度振り返ってみてください。試合に出ている皆さんはチームを代表してプレーできましたか？そのための（心と体の）準備は十分でしたか？ベンチから応援していた皆さんはコート上と同じ気持ちで試合に臨んでいましたか？この振り返りが皆さんを今以上に一回りも二回りも成長させてくれるはずです！

選手権大会では目標にしていた県大会出場を男女ともあと一歩で逃しましたが、“最後まで諦めず挑戦し続ける”という姿は貫けていましたね。イーグルスで経験したこと、感じたこと、その全てが皆さんの今後の糧となってくれと信じています。

皆さんの活動を支えてくれた全ての人、特に保護者の方々への感謝を忘れず、次のステージでも、それぞれが目標を立てて、自信を持ってチャレンジし続けてください。

皆さんからもらった感動は忘れません。たくさんの感動をありがとう！

これからの活躍をコーチ一同、心から願っています。

ミニバスケットボール部 青山イーグルス コーチ代表 川上 竜樹 コーチ一同